

2014年春応物シンポジウム（2014年3月17日 青山学院大相模原キャンパス）

多元化合物の多様な機能性と評価・応用の新展開－ICTMC-19に向けて－

Wide Range of Functionality on Multinary Compounds and Their New Development of Characterization and Application - Toward ICTMC-19 -

企画の趣旨： 本研究会が中心組織となって 2014 年 9 月に応用物理学会が主催する ICTMC-19（The 19th International Conference on Ternary and Multinary Compounds）が新潟で開催されるにあたり、その国際会議における主要なスコープエリアである多元化合物の結晶成長技術，評価技術，材料設計，太陽電池材料と応用，新たな高効率太陽電池，発光材料，スピントロニック材料などの各分野において，招待講演者から興味深いトピックスを紹介いただく。また，公募の一般講演としては，現在三元多元化合物で最もホットな化合物太陽電池分野（「中分類 14.5・化合物太陽電池」等）の発表講演を中心的に取り上げ，より一層活発な議論を促す。本シンポジウムと ICTMC-19 の相互作用により，多元系であるからこそ出現する特徴的な物性についての理解がより深まり，多元系の特徴を生かしたデバイス開発のさらなる発展が期待される。